



◀ 鯉のぼりの掲揚式の様子

5月5日の「こどもの日」を前に、各地域で鯉のぼり掲揚式が行われました。

参加した各地域の保育園児らが、「鯉のぼり」の曲に合わせて、空高く鯉のぼりを掲揚しました。また、海の文化資料館では、88頭のジュゴンのぼりが気持ちよさそうに青空を泳いで来館者の心を彩らせたほか、天願川でも多くの「鯉のぼり」が元気よく泳ぎ、訪れる人々の目を楽しませました。



◀ 元気よく鯉のぼりを掲揚する子どもたち



◀ 天願川流まつり

**鯉のぼり・ジュゴンのぼり
元気良く空を泳ぐ！**

「こどもの日」鯉のぼり掲揚式

ニライカナイの神々へ 安全と豊漁を願う

平安座島 伝統行事 サングワチャー

旧暦の3月3日～5日（4月19日～21日）にかけて、うるま市平安座区で伝統行事「サングワチャー」が行われました。

旧日となる旧暦3月4日、地域内の「ちょうぬ浜」と呼ばれる場所で、女性がノロに魚を献じる儀式、トゥダヌイユ（魚を鋸で突き刺す儀式）が行われ、マクブとタマンがノロに捧げられました。その後、40kgもある魚みこしを担ぎ、おもしろい衣装で参加する区民らがミチジュネーをしながら海を渡り「ナンザ岩」から、ニライカナイの神々に航海安全と大漁豊漁を祈願しました。3日間とおしてのサングワチャー行事は平安座区の最大の行事で、それは海国にふさわしく、毎年各地から見学者が訪れています。

▼ ノンザ岩へ登り豊漁を祈願する参加者



▲ 存在感のある魚のみこし



▲ 浜では太鼓を鳴らして出迎える



▲ 全身を墨で真っ黒くした地元の中学へ